

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連 (東海)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・商品が客の要望にあえば売上は増加する。また、場所等によって売上が増加している店もある。	
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンドによる来客数が好調で、悪天候の影響を吸収して前年同期をクリアしている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年と比べても僅かな伸びだが、客1人当たりの購入点数が増え、売上は2けた近く増加している。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年と比べてかなり好調である。客の様子も価格をあまり意識せずに買物をしているように感じる。	
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は減少しているが、客単価が上昇している。	
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて売上はやや増加している。スタッフが変わって売場も変化したことが、客からの支持を得ている。	
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が9月に入ってから順調に伸びている。	
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・戸建住宅の新築、リフォーム共に増加傾向にある。また、大規模改修工事や民間設備工事も増加している。	
		都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・宴会、レストラン共に、忘新年会等の問い合わせの動きが鈍いが、宿泊は客単価が上がってきている。	
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・9月の大型連休で、売上が少し増加している。	
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・大型連休は、ゴールデンウィーク以上に旅行や帰省に出掛ける人が多かった。交通機関、ホテルや観光地では、例年の9月にはないにぎわいがあり、消費者には、レジャーに金を使う余裕があるように感じる。	
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・企業では、全体的に設備投資が続いている。また、大手通信事業者との共同商品の販売が好調である。	
		その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・9月の大型連休で、イベントの入場券販売が良好であった。	
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホームケアキャンペーンが8月から始まっており、その売上が貢献している。	
		変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・大型連休の分、今月は販売量の増加を期待していたが、前後の週が悪いので、販売量はトータルでは前年とほぼ同じ数字となっている。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税の再増税が話題となり、節約傾向が強まっている。
			一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・政治が安保法案のみに集中して、経済対策が後回しになっている。経済面での政治の活性化を期待する。
			一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・平日の観光客数は前年比で減少しているが、9月の大型連休の増加で埋め合わせ、前年とほぼ同じとなっている。伊勢志摩サミットの報道で地域の知名度は上昇しているが、商売での実感はまだない。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店への客の流れは、まだ安定していない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・猛暑や大雨等の天候不順や連休の影響で来客数が少ない。今月上旬はバーゲンセール等の企画があったので、何とか売上を確保できたが月全体では悪かった。院外処方箋の客も、医者の方々の夏休み等があって、来客数が減少している。	
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・お彼岸の時期の売上は前年と変わらず、まずまずの状況であるが、プライダグや葬儀に金をかけない客が増えている。	
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・9月の大型連休では多くの客でにぎわったが、中長期でみれば、やはり遷宮以降は緩やかな下り坂が続いていると感じる。	
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・天気が悪い日等は来客数が伸びず、来店があっても購買意欲を感じられない。	
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・9月の大型連休等の消費の機会もあり、レジャーサービス分野における個人消費は、引き続き堅調に推移している。	

百貨店（経理担当）	来客数の動き	・台風等の影響もあり来客数の落ち込みが大きい。残暑はそれほど厳しくなく、秋物衣料品の動きに期待をしているが、大きな伸びはみられない。
百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・インバウンドや高額消費は変わらず好調であるが、中間層が消費の主体である衣料品や食料品の動きが鈍い状況である。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・9月の大型連休の集客は通常の週末と変わらなかった。高額商品の動きはやや滞ってきているものの、ギフト、自家需要共に3～5万円の商品の動きが活発である。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・客の購買意欲を刺激する要因に乏しく、来客数の前年割れや婦人服等の衣料品の動きが悪い状況は、3か月前と変わっていない。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・インバウンドで高額品や化粧品などの動きは良いが、例年この時期に動くはずのファッション関連商品の動きが鈍い。不要不急の物や長くは使えない流行品等に対する購買が活性化していない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は上昇しているが、全体の売上は増加していない。購入点数は増えずに客単価のみが上がっている状態で、良いとも悪いともいえない。
スーパー（店員）	お客様の様子	・客は安い商品だけを買う状況が、ずっと続いている。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・今月も販売量は前年の96%で推移し、景気が上向いている実感はない。
スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・売上高、利益はやや良い状況である。来客数は6月から前年同月を下回ることが多く、苦戦が続いている。ただし、客単価は9月も前年比102%と順調な数字を維持している。
スーパー（営業企画）	お客様の様子	・食品には大型連休に伴う影響はほとんどない。不安定な天候に日々の売上が大きく左右されるが、結果的には前年並みという傾向が続いている。期初は前年を上回っていた客単価も、購入点数が減少し、ほぼ前年並みに落ち着いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は前年同期を下回っており、前月までとあまり変化がない状況である。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・1日当たりの来客数が前年と比べて40人ほど下回る状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月までの夏季期間と比較すれば、例年9月の来客数は減少する。今月は、前月比で2.7%のマイナスである。
コンビニ（店長）	単価の動き	・各曜日の客の来店の仕方は以前と変わらない。金～土曜日に多少増えるくらいである。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月上旬は、残暑や台風18号等の影響で来客数が少なく、来客数の減少で秋物商品の販売量が減っている。中旬以降も客の購買意欲には変化がみられない。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンの新機種が出たが、反応は特になく、例年並みの動きである。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・9月は本来なら半期の決算で販売台数が伸びる月であるが、それほど盛り上がっていない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客の様子を見ていても、ここ何か月と同様に何か変化があるようには感じない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は、今月も引き続き目標達成は間違いなく、更に増加が見込める。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きに大きな変化はなく、過去の実績からの販売量の見通しとの差も小さい。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・問い合わせ件数も少々あり、成約につながるものもあるため、今月も悪くはない。販売台数にも動きがみられる。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・個人客の購入は減ってきているが、法人客の買換えや所有台数の拡大による購入があるため、トータルでは目標並みとなっている。9月は半期の決算期ではあったが、前年並みの売上である。サービス工場への入庫も活発で、目標数を超え、前年並みの実績を確保できている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車種の発売により受注台数は前年実績を上回っている。しかし、受注先行の状態でもまだ登録実績に結び付いていない。若干ではあるが店頭にも来客数が増えている。しかし、客と話していると、日常の支出が増えて大変であるとの声が多く、明るい話題がない。

	その他専門店 〔貴金属〕（営業担当）	お客様の様子	・休みが長く続いたせいか、大型連休明けはなかなか客足が戻ってこない。デパートへの来客数は減っている。
	その他小売 〔ショッピングセンター〕（経理担当）	販売量の動き	・売上高は前年比0.8%のマイナスで、来客数は前年比8.0%のマイナスとなっている。
	高級レストラン （役員）	来客数の動き	・株価の下落が客足に響いているように感じる。9月の大型連休の客足は、前年と比較して好調であった。
	一般レストラン （従業員）	お客様の様子	・景気は相変わらず低いレベルで安定している。9月の大型連休は、遠出をせず近場の外出で済ませた人が多かったようで、その間の売上は増加している。
	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、前年比で約10～15%落ち込んでいる点は変わっていない。宿泊部門、昼食・夕食部門共に、前年を上回るような景気の強さを感じられない。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・個人消費の動きが相変わらず鈍い。法人も同様である。秋シーズンの受注はまずまずだが、それ以降の商品の動きが鈍い。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・紅葉や年末年始に向けた問い合わせは多い。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・9月の大型連休は天候にも恵まれ、客足は悪くなかった。ただ、客が集中し、連休明けからは動きが悪くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月前半は雨天が多く、特に通勤時間帯が雨の日は客も多かったのやや良かった。大型連休中も比較的良かったが、外出の疲れや出費が増えた反動のためか、連休明けは夜の客は少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街の人出が少なく先がみえない。かなり悪い状況が続いており、そこから良くなる見込みはない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・近くであれば歩いたり、自宅からの迎えで済ませる人が多く、客としては代行運転が多い。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約者数は低い水準で推移しており、新規契約者も堅調であるものの、単価の低いサービスへ流れる傾向が顕著であり、良いとも悪いともいえない状況である。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・連休があったためか、客の動きが大きくは変わっていない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・9月の前半は雨の日や台風の影響もあり、入場者数が低迷していたが、大型連休は好天に恵まれたため、入場者は予算どおりに確保できている。この週末も天気が良さそうなので、今月はほぼ予算通りとなる。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客に9月の大型連休の話を知ると、出掛けた人は少ないようである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・高齢化で客足が遠のいている。5～6月以降は良くなるかと思っていたが、実際にはそうならない。
	その他サービス 〔介護サービス〕（職員）	お客様の様子	・家計維持のため共働きの世帯が増加している。母子家庭も増加しているのか、放課後デイサービスを利用する家庭が多くなっている。施設としては、利用者のニーズは高まっているが、職員数が限られているため、増加に対応できない状態である。
	その他サービス 〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・福祉用具の販売動向には、特に変わった動きはない。
	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・9月の大型連休に期待をしたが、住宅展示場の来場者数は伸びなかった。交通情報等を聞くと、旅行やレジャー関連は良かったようである。期待が高かった分残念ではあるが、例年通りの来場者数はあったので、状況は変わっていない。
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・販売状況は横ばいである。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	お客様の様子	・少しではあるが売買希望の客が増加傾向にある。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・これからは、もう少し上向くような気がしているが、客の表情が暗い。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・各種のイベント等の企画がないと、集客ができない状況になっている。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・夏以降、販売量は更に停滞している。

一般小売店〔贈答品〕（経営者）	競争相手の様子	・秋は売上が伸びる時期であるが、例年に比べて少し動きが悪い。人々はギフトを贈るような交友範囲を広げていない。自分に対する金は使うが、他人に対する金は、景気の影響で使える金額が減っている。
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・9月の大型連休といった変動要因も重なり、売上高は前年割れで、特に後半が顕著である。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は変わらない。しかし、衣替えの時期には早いのか、靴を見るだけ、履くだけあるいは説明を聞くだけで帰る客がほとんどである。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・若年から中年層の客に話を聞くと、給料が上がっていないそうで、自分にあつた日用品や衣料品等をお買得な時を選んで購入している。各店での販売量に変動はないが、売上高は減少している。中国景気の減速が他の新興国や資源国にも影響し、日本からの輸出が伸びないため、労働者の手取りの給料は減少している。
スーパー（店員）	販売量の動き	・天候の悪化による食品価格への影響が非常に大きい。特に白菜やキャベツ等、葉物野菜の価格が、通常の3～5倍程度に上昇しており、客も諦めて買い控える様子が見受けられる。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は大型連休もあり、行楽客が増加するかと期待していたが増えていない。来客数は前年比でかなり減少している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・9月は例年に比べ残暑が厳しくなく、飲料やアイスが不振で全体の売上も前年を大きく下回っている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・夏場と変わり来客の動きが鈍くなっている。前年との比較でも販売量は10%減少で推移している。商品別では、テレビや冷蔵庫といった大型家電の販売量が悪い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券等、地域振興のための動きはあるが、あまり消費拡大につながっている感じはしない。商品券をきっかけに何かを買おうという様子は見られず、ふだんの生活の足しという使い方が多い。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・物価が上昇しており、様々な面で買い控えが起きているため、景気は悪くなっている。
その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・9月の大型連休は天候にも恵まれ、レジャー関連は良かったと思うが、書店に関しては来客数が減少したため、売上が伸び悩んでいる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数が前年比で減少している。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月は大型連休があつたが、思ったほどの集客がなかった。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・2か月続けての大型連休は、一般企業向けの会社にとっては、大きく売上に響いている。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・前年同期に実施した大型団体向けの日帰り宴会企画が今年はないため、その影響は織り込み済みではあるが、それを除いても、宿泊宴会や食堂部門も伸び悩んでおり、全体で前年比約15%のダウンと、悪化の方向へと向かっている。
都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・先行して予約が入る状況が悪くなっている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・旅行商品を含む消費の動きは、メリハリがはっきりしてきている。お盆や9月の大型連休が終わり、一気に節約ムードが広がっている。中国の景気の減速が、我が国の輸出型産業にもじわじわと影響している。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きが、やや悪くなっている。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・9月は例年も閑散期であるが、例年以上に客が来ない。
美容室（経営者）	お客様の様子	・街中の人口が減っていて、経済的にも他の地域と比べて厳しいのが要因のひとつである。
設計事務所（職員）	お客様の様子	・客や現場の話でも、景気の良い話は聞かない。
住宅販売会社（従業員）	それ以外	・木造住宅専門の施工業者や木材等の卸売業者からは、中小の住宅工事施工会社が窮しているとの話を聞く。

		その他住宅〔住宅管理〕(経営者)	単価の動き	・公共、民間工事共に受注価格が低く、材料費や人件費が上がっているため、どれだけ合理化をしても利益を確保しづらい。
悪くなっている		商店街(代表者)	お客様の様子	・高齢の客は、年金生活だから何も買えないと口癖のように話す。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・売上、販売量だけでなく来客数、仕入価格、客単価等、すべてにおいて過去最低の数字となっている。景気は回復するどころか、後退している。
		コンビニ(企画担当)	来客数の動き	・9月に入って、来客数は前年同期割れの状況が続いている。
		衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	来客数の動き	・気候の影響もあると思うが、夏物のセール品で苦戦している。秋冬物の商材が好調というわけでもなく、全体として前年の85%の数字となっており、購買意欲も感じられない。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・販売量がかなり減っている。来客数も前月に引き続き、増えていない。
		一般レストラン(経営者)	それ以外	・生鮮食料品や衣料品等の価格が上がっている。
		理容室(経営者)	お客様の様子	・相変わらず景気の良い話はない。年配の客は、ますます安い店に行ってしまう。
		住宅販売会社(経営者)	競争相手の様子	・競争相手も同様であるが、なかなか住宅が売れない。
企業動向関連(東海)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		食料品製造業(経営企画担当)	それ以外	・9月の大型連休では人出も多く、観光地や商業施設もにぎわっており、消費拡大の方向に少なからず貢献している。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが、前期比で5.1%のプラスと、良くなってきた。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・発送便、到着便共に、順調に増加している。
		金融業(法人営業担当)	取引先の様子	・取引先である製造業者の多くは、原油や鉄鋼原料等の価格低下で原材料コストが軽減し利益が改善している。コスト増加の販売価格への転嫁が難しく悩んでいた状況からは、変化がみられる。
		企業広告制作業(経営者)	それ以外	・景気は底を打った状況で、現在は上昇する傾向しかみられない。ただし、消費税の増税等、先の問題を控えているため、緩やかな上昇である。
		その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	受注量や販売量の動き	・下期になって案件が増えつつある。前年度より増えていると感じる。
変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月は稼働日数が少ないものの、これまでと変化なく推移している。
		出版・印刷・同関連産業(代表)	取引先の様子	・主な取引先の状況では、受注量が年々落ちてきているとの声が多い。
		化学工業(人事担当)	受注量や販売量の動き	・スーパーでは、食料品等の価格が上昇している一方で、販売量はやや減少し、売上高は、あまり大きな変化はないようである。
		化学工業(総務秘書)	それ以外	・安保改正の議論が話題の中心となり、経済の動向にやや関心が薄れている。安保法案が採決されたので、今後はマスコミや国民の意識は安保議論から経済等にも向かっていく。
		金属製品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・当地域というよりは他のエリアの動きにもよるが、仕事量は少なくはなく、忙しい状況は変わりがない。
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は、想定範囲内ではあるが目標を下回っている。景気の先行きに不透明感があるためか、商談が長期化する案件もある。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・株価の乱高下が円相場にも影響しているが、現状では直接的な影響は出していない。
		輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	取引先の様子	・取引先の様子には変化はない。身の回りでは、白物家電や車を購入する人が増えている。
		輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・主要得意先からの受注は堅調である。
		建設業(経営者)	それ以外	・建設業は極端な追い風状態となっているが、逆に不動産開発業は、長期間にわたって極端な逆風状況が続いている。

建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・世の中が全く安定してないため、個人の低所得者層では、リフォームや建て替え等を考える気になれない。	
建設業（営業担当）	取引先の様子	・建売住宅の動きがあるので、浄化槽等を入れる住宅があると仕事につながる。地域では下水道の配管が進んでいるので、下水道を利用する人が多く、浄化槽の普及という点でみると、あまり変わらない。	
輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業他社との話では、他社でも荷物の量が停滞している。特にお盆明けから9月に入って荷物の量が伸び悩んでいる。全国的にも荷動きが活発ではない。	
通信会社（法人営業担当）	それ以外	・株価は下落し、日銀の言うような緩やかな景気回復という実感はない。生活保護世帯は過去最高へと増加し続けている。8月の消費者物価は前年同月より下落、ガソリンやガス料金も下がっているが、野菜等の生鮮食料は値上がりしている。	
金融業（従業員）	取引先の様子	・大手企業はある程度安定しているが、中小企業は景気悪化のしわ寄せが避けられない。大手自動車メーカーのある当地においても、利益がなかなか確保できない厳しい状況が続いている。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・中国の景気減退や新興国の不安により、やや株安、円高となっていることから、個人の資産運用も当面は様子見となっている。利益を得ている実感がなく、消費についてはやや慎重になりつつある。	
不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産市場が活況なのは、首都圏や名古屋の駅前に限られる。その他の地域では、顕著な変化はない。	
不動産業（用地仕入）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格には変化がみられない。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・広告の受注量はあまり変わっていないが、ほとんどの客では、予算的に厳しくなっている。状況としては、これまでと変化はない。	
行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が通常と変わらない。	
公認会計士	それ以外	・中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい。業績の厳しい客が多く、従業員の給与も上がっていない。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・客の業績は回復しており、売上、利益共に良くなっている。この傾向は今年初めから続いており、変化はない。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・取引先各社から仕事があり、当社ではここ数年来最高の忙しさが年未までは続く。他社においても、業況にはそれほどの変化はなさそうである。	
やや悪くなっている	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先で需要が低下している。賃金の大幅な見直しを図るとの話をもよく聞いている。
	化学工業（営業）	競争相手の様子	・競合他社の売込みがより一層激化している。価格の競い合いにより、収益、売上共に低下している。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・全体的に新しい動きや引き合いが少なく、受注量は緩やかな減少傾向にある。
	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・各企業からのコストダウンの要請や再見積の激化、大手鉄鋼メーカーの材料値下げの発表等により、鋼材価格が下がり続けている。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・スマートフォン関連の設備投資が、受注、売上共に落ちてきている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資が一段落し、当社のオリジナル商品があまり動かなくなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・極めて一部の企業では内需により好調なところもあるが、全体的には価格の見直し等も実施されておらず、受注量は減少傾向にある。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・中国経済の減速等が要因で、9月の客からの受注量は内示に対して未達成となる見込みである。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・中国向けを中心に生産財輸出の落ち込みが続き、消費財の輸入量も減少が続いている。新聞では国内の日用雑貨の値上がりを報道しているが、運んでいる商品の運送単価は総じて下落傾向にあり、収入減となっている。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・天候不良のためか、9月の前半は荷動きが極めて低調であった。大型連休前後も予想に反して荷動きは低調で、一般消費財の売行きが悪く荷動きは悪い。このままでは、物量、収入共に前年の実績を下回る見込みである。燃料の軽油価格が、前年に比べて低下しているのが、物流業界としては救いである。

		会計事務所（職員）	取引先の様子	・今まで中小企業を中心としていた職種に、大手企業、準大手企業が進出し、経営を圧迫し始めている。建設業界でいえば、型枠、鉄筋、生コン、左官等である。他の業界においても合併が多く、ホームセンター、家電、保険、コンビニ等で、組織拡大の動きがみられる。	
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量の動きが悪くなっている。受注価格も低くなっている。	
雇用 関連 (東海)	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・改正労働者派遣法が成立し、企業の派遣活用が停滞状況を脱して活性化してきている。	
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・新型車種の発売を抑える自動車メーカーでは、生産体制を整えるため人員確保の動きがある。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・医療・介護分野での人手不足は慢性化している。小売業界でもパート層を中心に募集が拡大してきている。採用意欲も引き続き全産業にみられるが、正社員の求人数の伸びは、相変わらず鈍い。地域の基幹産業である自動車等の製造業については、海外に生産拠点が移ったことや在庫超過のため、生産調整中の事業所もある。改正労働者派遣法の成立で、パート求人を中心にそれを見越した労働者募集が大量に出てきている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人需要は底堅い。9月は前年同日をやや上回る水準で推移しており、求人動向には安定した動きが感じられる。有効求人倍率は4月にやや悪化した。6月以降は連続で前月を上回っている。製造業では、総じて求人活動が卒業者にシフトしており、中途採用には大きな動きはない。福祉・介護関係は依然として需要が高く、介護職だけでなく施設運営に必要な調理や清掃等の付帯職種まで、幅広い求人がある。	
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・年明け入社を目指して活動する人が増えている。企業の採用意欲も、引き続きおう盛な状況である。	
	変わらない		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求職者が複数から内定をもらい、選択できるような環境になっている。
			人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・9月は派遣先の各企業において契約更新時期が集中していることもあり、求人数の動きは3か月前比110%で推移しており、変わらない状況となっている。
			人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・エンジニア派遣の引き合いは相変わらず堅調で、当面は下降する様子はない。
			新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・人手不足の企業は少なくないが、求人側と求職側に大きなミスマッチが生じている。企業としては、その解消に労力を割いていられないので、不足状況が続いている。新卒の採用時期等については、国の示した指針が完全に悪影響を及ぼしている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・9月末の新規求人数は前年比2.3%の減少で、景気は横ばい傾向である。求職者も8.2%減少しており、失業者は少ないと感じる。新規求職者において、高齢者で雇用保険の手続をする人が、前年よりも26%増えている。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者の減少が続いている。	
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・景気の先行き不透明さから、様子見に徹する企業が中小企業を中心に目立つ。	
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	それ以外	・前月からは変化がないように感じられる。	
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・例年に比べても、今月は法人関係の派遣スタッフ利用が減少している。	
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・中国経済の減速により、国内でも株安傾向にある。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・特定分野での求人は拡大しているが、全体的に減少傾向にある。	
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数を雇用形態別にみると、正社員の割合が多少低下している。	
		民間職業紹介機関（支社長）	それ以外	・株価の下落やドイツの自動車メーカーの不祥事が、雇用状況にも影響している。	

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---